

## 5 - 2 1987 年 3 ～ 4 月駿河湾西岸周辺の地震活動

### Seismic Activity around the West Coast of Suruga Bay, March - April, 1987

国立防災科学技術センター

National Research Center for Disaster Prevention

1987 年 3 ～ 4 月にかけて、駿河湾西岸周辺で 2 つの微小な地震活動が認められた。まず、3 月 6 ～ 17 日（活動 A）に、静岡市の東方沖で、少なくとも 7 個の地震がほぼ同一の場所に発生した（第 1 図 A）。主な地震の震源要素は以下の通りである。

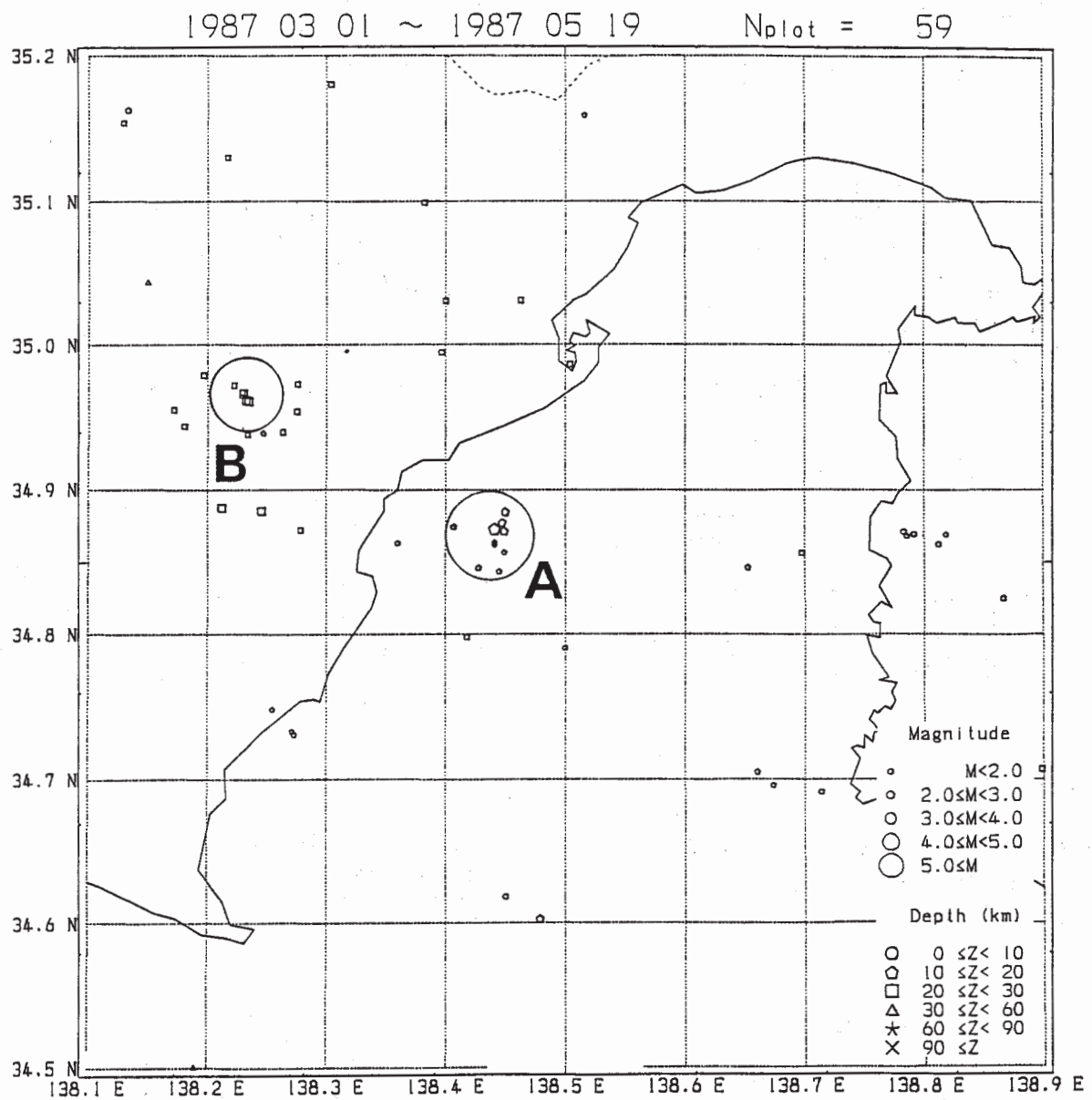
- ① 3 月 6 日 17 時 11 分 16 秒，東経 138.44 度，北緯 34.87 度，深さ 13km，M3.2
- ② 3 月 9 日 10 時 8 分 9 秒，東経 138.45 度，北緯 34.88 度，深さ 13km，M2.9

この地震の発震機構解を第 2 図に示す。両者とも東北東－西南西方向圧縮のストライクスリップ断層型である。次に、3 月 27 日～4 月 22 日（活動 B）に、内陸部で、少なくとも 4 個の地震がほぼ同一の場所に発生した（第 1 図 B）。主な地震の震源要素は以下の通りである。

- ③ 3 月 27 日 17 時 56 分 27 秒，東経 138.23 度，北緯 34.96 度，深さ 22km，M2.4
- ④ 4 月 22 日 19 時 51 分 25 秒，東経 138.24 度，北緯 34.96 度，深さ 21km，M2.5

この地震の発震機構解も第 2 図に示す。両者とも北西－南東方向圧縮の逆断層型である。活動 A と活動 B はともに、静岡市から伊豆半島南端にかけての地震活動度が高い領域（駿豆構造線）で発生している（第 3 図）。断面図（第 4 図）で見ると、活動 A および B は、駿河トラフから西北西方向に傾斜した震源分布の内部で発生していることがわかる。

（堀 貞喜）



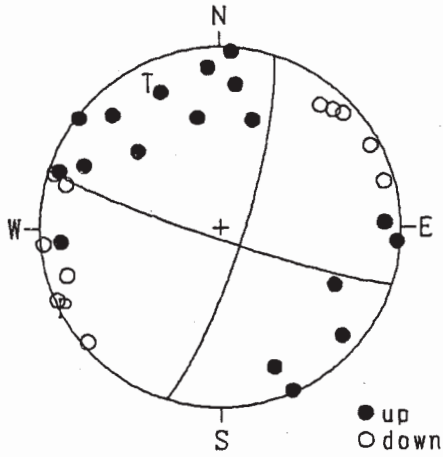
第1図 震央分布図 (1987年3月1日～5月19日)。

A, Bはそれぞれ活動A, 活動Bを表わす。

Fig. 1 Epicentral distribution (March 1 – May 19, 1987). Activities I and II are encircled by solid lines A and B respectively.

①

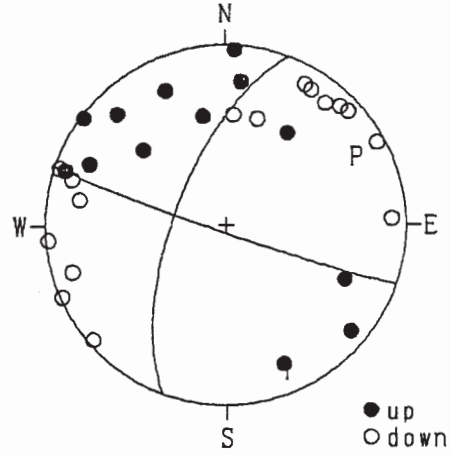
870306 17H 11M 15.97S  
 34.872N 138.441E  
 DEPTH(KM)=13.3 M3.1



P-AXIS TH=86.2 AZ=242.8  
 T-AXIS TH=78.6 AZ=333.5  
 B-AXIS TH=12.0 AZ=135.0

②

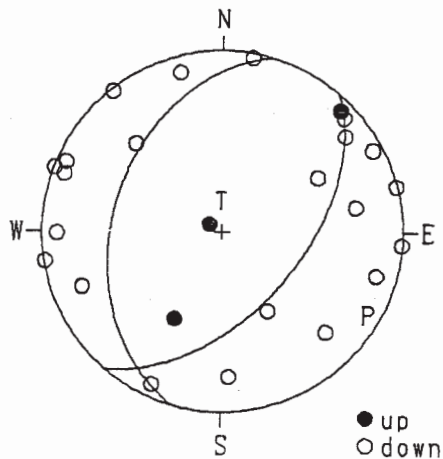
870309 10H 8M 8.76S  
 34.876N 138.447E  
 DEPTH(KM)=12.8 M2.8



P-AXIS TH=70.8 AZ=62.5  
 T-AXIS TH=76.1 AZ=157.4  
 B-AXIS TH=24.0 AZ=281.2

③

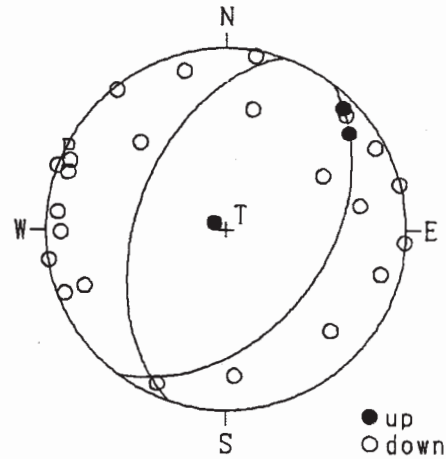
870327 17H 56M 26.91S  
 34.960N 138.231E  
 DEPTH(KM)=21.8 M2.3



P-AXIS TH=82.3 AZ=119.5  
 T-AXIS TH=14.2 AZ=357.7  
 B-AXIS TH=78.0 AZ=211.1

④

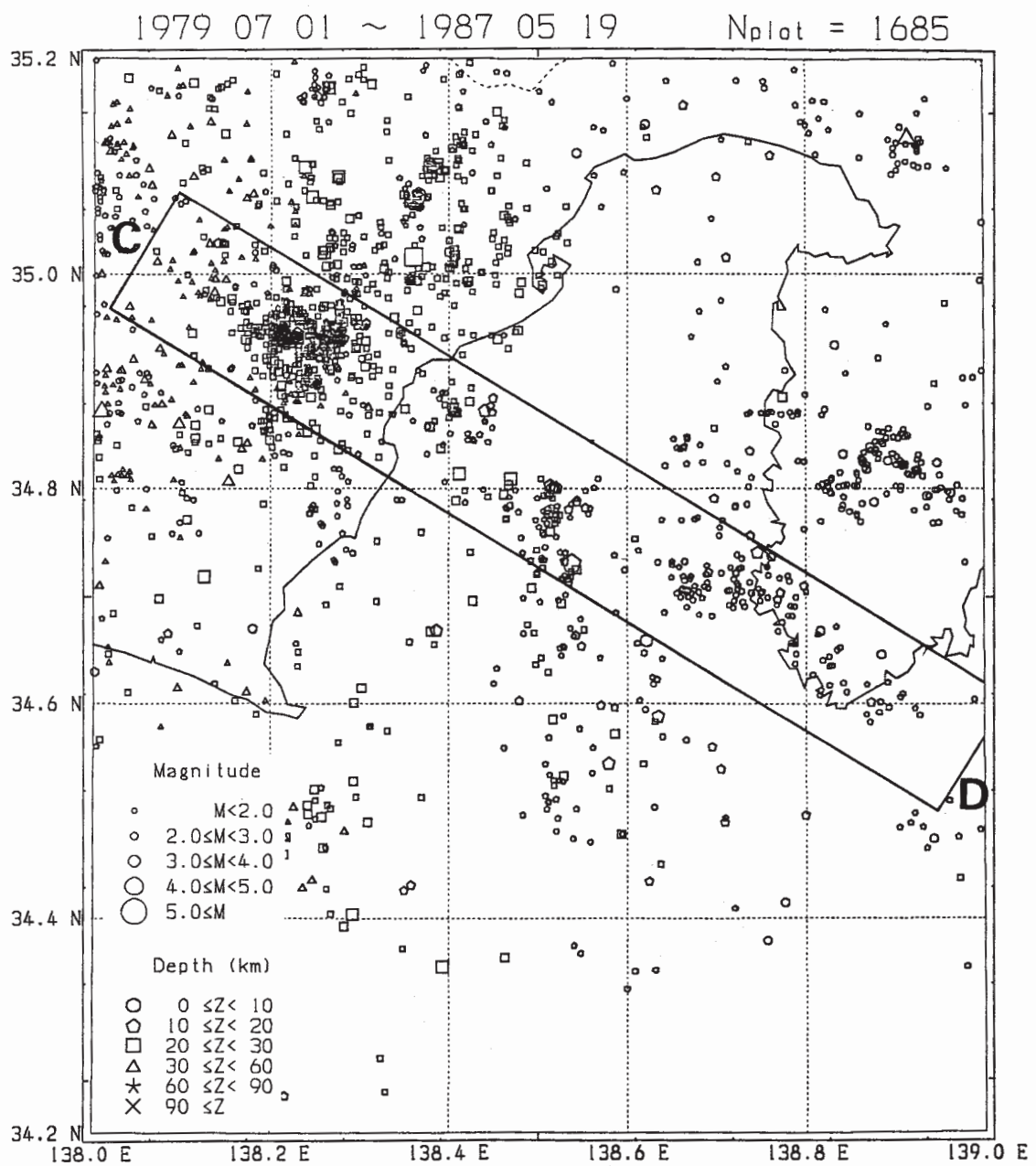
870422 19H 51M 25.13S  
 34.960N 138.233E  
 DEPTH(KM)=21.3 M2.5



P-AXIS TH=87.4 AZ=297.0  
 T-AXIS TH=9.3 AZ=42.8  
 B-AXIS TH=81.0 AZ=206.6

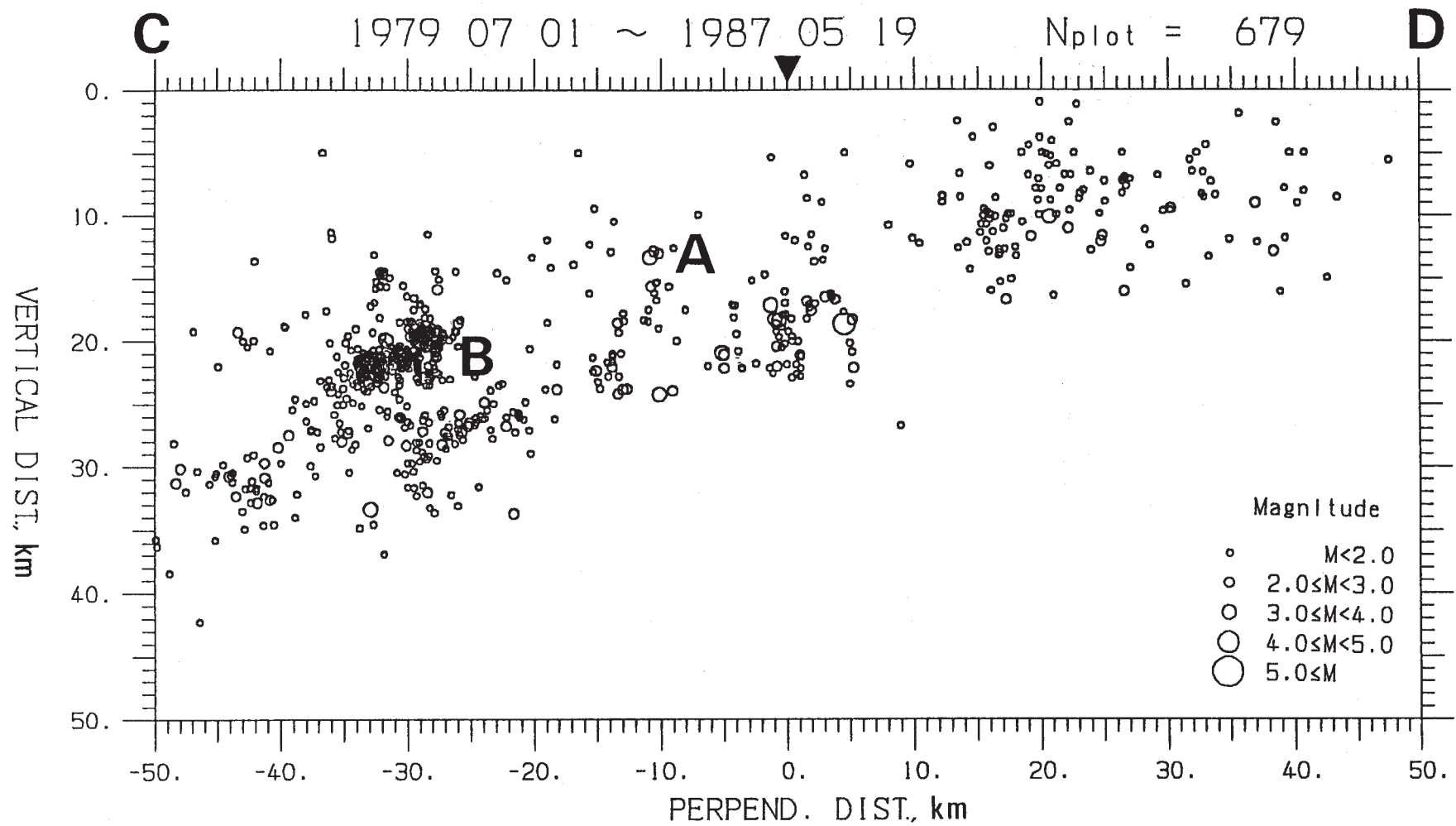
第2図 発震機構解 (下半球投影)。

Fig. 2 Focal mechanism solutions (lower hemisphere projection).



第3図 震央分布図 (1979年7月1日~1987年5月19日)。

Fig. 3 Epicentral distribution (July 1, 1979 - May 19, 1987).



第4図 第3図の長方形領域のCDにそった断面図。  
駿河トラフの軸を黒三角印で示す。

Fig. 4 Vertical section of the rectangle region of Fig. 3. Suruga trough is indicated by a solid triangle.